



# 学校だより



2020年12月25日

横浜市立港南台第一小学校

1月号

Email y3konan1@edu.city.yokohama.jp

Tel 832-0210

Fax 832-7771

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kohnandai/>

## 「2020年→2021年 くじけない心」

校長 瀧田健二

2020年、多くの『学び』を得た一年が終了し、子どもたちが楽しみにしている年末を迎えます。皆様には、様々なところで、ご支援・ご協力を賜りました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

今年一年は、コロナに振り回された一年でした。断念せざるを得なかったこと、新しい様子を余儀なくされたことも多くありました。それでも力を合わせ、できることを精一杯やってきた一年でもあります。みんなの、そして自分の頑張りに拍手を贈りたいものです。

12月初め、今年一年の流行語大賞が決まりました。「3密」でした。やはりコロナに関連した言葉になりましたが、そんな流行語大賞のトップ10に、私の目を引く言葉がありました。それは「鬼滅の刃」です。今さら説明が要らないほど一世風靡しました。漫画の連載で始まり、映画化されると記録更新するかというほどの大人気です。子どもから大人に至るまで、幅広い年齢層に人気があります。「鬼滅の刃」は単なる鬼退治でないところに人気の秘密があるのではないのでしょうか。

ストーリーの中では、主人公の炭治郎が直面する現実、理不尽なことだらけです。悲しみが深く、絶望と隣り合わせのことばかりです。乗り越えても乗り越えても、大きな壁が立ちほだかります。それでも、炭治郎は前を向き続けるのです。実は、そんな炭治郎の言動や行動は、問題を解決したり、状況を好転させたりするためのヒントに満ちあふれています。

炭治郎と、彼をとりまく人たちの生き方、考え方、関係性は、私たちが生きていくうえで大切なこと、良好な人間関係を築くうえで必要なことを教えてくれます。登場人物たちの言動、立ち居ふるまいは、現代人が忘れかけているけれど、実は当たり前なこと、やってしかるべきことが多いのです。「鬼滅の刃」を見る人たちは、そういうところに心を惹かれているのだと思います。

「鬼滅の刃」が教えてくれること、それは、「目標達成には努力の積み重ねが欠かせないこと」、「人間は決して一人では生きていけないという現実」、「相手を認め、敬い、大切にしようとする姿勢の重要性」などです。当たり前なことだけれど、意識して行動しているとも胸を張れない、そんな人は多いのではないのでしょうか。改めて心に刻みたいと思います。

さて、年末の後は年始となります。令和3年（2021年）の幕開けです。新しい年も皆様にとって良い年になりますようお祈り申し上げます。炭治郎が教えてくれた「くじけない心」をしっかりと持って、新しい一年が明るく素晴らしいものになるよう頑張っていきたいものです。

また、考え方や見方を少し変えてみるのも「くじけない心」をもつ1つの方法です。例えば失敗をしたとき、くよくよするばかりでなく、その失敗を次の成功のための糧としてとらえることです。人は誰でも失敗をします。一生懸命にやっても失敗はあります。だから、全てを完璧にこなせる人などいないのです。学校は様々な成功や失敗の経験を繰り返しながら生き方を学ぶ大切な場です。失敗することだって、大切な『学び』の機会なのです。失敗の後でどのような行動をとるかが重要だということを心に刻んでほしいと思います。

有名な発明家「トーマス・エジソン」をご存じですか。彼が残した言葉に次のものがあります。『私は失敗したことがない。ただ、1万通りの、うまく行かない方法を見つただけだ。』なんと前向きな言葉ではありませんか。考え方や見方を変えることが、前を向く良いきっかけになるはずです。来年もまた、皆様のご理解・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

